

大会運営規定

1. 各チームとも試合開始 30 分前までに集合すること。
2. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
3. 試合中ベンチへ入ることのできる人員を次の通り制限する。
責任者、監督、コーチ 2 名以内、登録選手、マネージャー、スコアラーの 31 名以内とするが、本大会に限り熱中症対策として、上記以外に選手の水分補給を目的にチーム関係者（男女を問わないが成人であること。）2 名のベンチ入りを認める。
但し、応援に係わる行為は禁止とし、応援行為を行った場合はベンチから除く。
4. 試合前のシートノックは 5 分以内とし、ノッカーは必ずユニフォームを着用すること。尚、大会運営上シートノックを行わないで試合をすることがある。
5. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。但し、天然芝上では行わないこと。
6. 試合回数は全試合トーナメント方式 7 回戦とし、5 回以降、得点差、降雨、日没のコールドゲームを適用する。
7. 大会第一日目の試合のみ開始から 100 分を経過後は新しいイニングへ入らないものとする。
8. 規定の 7 イニングを終了、または時間切れ同点の場合はタイブレークとする。
{*タイブレーク}
継続打順の無死一、二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者とする。

9. 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
(1) 同一日投手が投球できるイニング数を 100 球以内とする。
但し、投球中 100 球に達した場合は、その打者の完了か攻守交代まで投球できる。
(2) 同一日に 2 試合を行う場合、第一試合の勝者はメンバー表を交換の際、大会本部で投手の球数を確認すること。
10. 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球 M 号とする。
11. 打順表は 6 部提出し、前の試合の 3 回終了後、大会本部にて交換する。
12. 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット（スロートガード付き）・プロテクター・レガース、ファウルカップを必ず着用すること。
13. 上記及び金属バット、捕手用マスクはスロートガード付きのものの使用すること。
14. 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム（背番号 0 番から 99 番までとし、監督 30 番、コーチ 29 番、28 番、主将 10 番）を着用すること。
15. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
16. 試合に勝ち残ったチームは、大会本部で次の日程を確認しておくこと。
17. 本規定に定めていない事項、は、全日本軟式野球連盟の定める規定、規則による。